

平成26年 2月 3日(月) 発行



高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



Winter Festival



第73号
2014・2

(写真提供) 森本純生校長

筋工事・型枠工事・コンクリート打設工事が進んでおります。今回の本館新築工事は周りの囲いはしてあるものの、安全・防災の為のものであり生徒の視線を遮るものではありませんので、各教室や廊下から生徒達は毎日工事現場の進行状況を眺めております。将来建築関係を志す生徒には又と無い勉強になったのではないのでしょうか。建物が設計の段階から完成するまでの間には、いくつの職種の人々が又総勢何人が関わって出来上がるのか、正に「輪」による作品であることを知って欲しいと思っております。もう暫く生徒・保護者の皆様に「ご不便をかけますが、ご容赦願います。」

本部役員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 五十嵐 栄子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には父母の会総会、

懇談会などご協力をいただき、感謝申し上げます。

娘の入学と共に引き受けした本部役員も、娘と共に卒業の時を迎えようとしています。役員の仕事や活動にできる限り参加させていただき、たくさんの方々と知り合い楽しく過ごした時間、役員にならなければわからなかった学校の事など貴重な経験をさせていただきました。

娘は友達にも恵まれ、部活動では全国大会へ出場する事ができたりと、多くの事を学び、成長し、楽しい学校生活を送れている姿を見て嬉しく思います。先生方の指導のお陰で、商大附で高校生活を過ごせました事はきつと一生の思い出になる事と思います。

校長先生、諸先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、今年度の卒業生達の輝かしい未来と、商大附高の発展、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

副会長 吉原 秀忠

新年明けましておめでとござ

います。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて政治も政権が変わり経済の動きも少しずつ良くなる兆しが見られるようになって来たのではないのでしょうか。

本校では生徒の皆様が勉学そして部活動や文化活動など様々な分野で前年度を上回る活躍が見られました。われわれ保護者に対してたくさん感動を与えてくれたことが印象に残っております。

生徒の皆様、若いエネルギーをこの高校時代に十二分に発揮し、これから社会という荒波を乗り越えられる優しくて立派な大人に成長することを心から願っております。二学年の皆様は早くも来年度は最終学年になります。しっかりとした目標に向かってために充実した高校生活を送っていただきたいと思えます。

結びに皆様のご多幸とご活躍、商大附高校の益々の発展を祈念申し上げます。

副会長 中村 純也

新年明けましておめでとござ

います。会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様のお力添えを頂きながら始まった二十五年度も残りわずかとなりました。生徒達が元気よく充実した高校生活を送れるよう微力ながら協力させて頂くつもりで、何も分らないまま引き受けてしまった本部役員ですが、忙しいのを理由に先生方や他の役員の方々に甘え、大してお役に立てないまま年度末を迎えようとしています。ご迷惑をおかけした方々には、力不足をお詫びするとともに、来年度は積極的に行事等に参加したいと思えます。

結びに、本校の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

書記 樋口 和明

新年明けましておめでとございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

平成二十五年度も残り少なくなってきました。気が付けば早いもので、娘の入学と同じくして役員を

受けさせて頂きました。

父母の会の様々な行事や学校の雰囲気は、自分から見てもとても素敵でした。とても素晴らしい経験をさせて頂きました。生徒の皆も目標に向かいながら学校生活を送っている事と思います。自分に自信を持ち進んで行きましょう。

結びに、商大附高の発展と皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

書記 飯塚 公明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

平成二十五年度は、会員の皆様のご協力の下、父母の会総会、学年級懇談会から始まりましたが、その行事もほぼ終わりに近づいてまいりました。参加させて頂きました行事では大変お世話になりました。ありがとうございます。

世の中を取り巻く環境は、前年に比べて少しは良くなっているものの、依然として厳しい状況には変わりありませんが、子どもたちには素晴らしい商大附高という教育環

境の中で、人として大きく成長してくることを期待しております。

最後になりましたが、商大附高のますますの発展と皆様のご健康をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

会計 高橋 陽子

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

娘が入学し本部役員を主人が、お受けし諸事情により今年度の一年間は私が引き受けることになりました。短期間ではありましたが本部役員の方々と様々な行事を通して色々な経験をさせて頂き得ることが沢山ありました。

娘も残りわずかな高校生活となりましたが、商大附高という素晴らしい教育環境で学べたことは、娘にとっても親としても誇りに思っています。特に部活動を三年間やり通し無遅刻無欠席であった娘の姿に大きな拍手を送りたい気持ちです。これも監督はじめ、コーチ、諸先生方、チームメンバーなど多くの方々の支えがあったからだ

感謝の気持ちで一杯です。卒業後は、沢山の山あり谷あり数々の試練が待っています。商大附高で学んだことを活かし乗り越えてくれることを願っています。

結びに、商大附高の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。

会計 高見澤 佳子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。役員をお受けして、不安に思いながらも早二年になります。

学年を越えた沢山の先生方との出会いや折々の学校の様子を間近で感じる機会を与えて頂いた事に改

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



毎熊 幸子

二十九年前の冬。私は高校三年生だった。幼い頃から憧れていた職業があったが、思い切り方向転換して、文系の短大へ行く決意をした。

普通に生きているように見える大人達は、今まで幾つもの迷い、

めて感謝いたしております。

今年度は、夏に県高P連の総会に参加させて頂きました。県内高等学校の役員の方々との意見交換では、それぞれの学校の特徴や苦勞などを聞く貴重な経験をし、塚野勇人先生の講演を聴きました。「人に感謝をし、人によって生かされている」という「命の授業」は、悩み多き子ども達に、是非伝えたい内容で感動いたしました。残りの高校生活を親子共々、楽しく悔いのない様に過したいと思っております。

最後に本校の発展と皆様のご健康、幸せをお祈り申し上げます。

決断をして今に至っている。

そして今、君は自分の選択に迷いを感じる心に蓋をして、黙々と勉強していることだろう。

きっと春が来る。そう信じて君の父、母、姉は見守っています。

なかなか感情を表に出さない君だけど、時には家族に本当の気持ちをつづけて下さいね。

角田先生、三年間、本当にお世話になりました。

諏訪田 シヅエ

今、改めて十八年間をふり返ると色々な事が思い出されます。

中学の卒業式の午後には、東日本大震災が起こりました。日本中が大変な混乱の中で迎えた高校の入学式でした。

三年間、先生方のご指導のもと充実した高校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

また気の合う友人たちにもめぐまれて楽しく貴重な時間を持てたことも幸せなことだと思っております。親には話さない事も多いと思えうけれど、様々な事があり、その都度、悩み考え語り合い、自分では気づかない成長もあった事だと思えます。

そして、もうすぐ高校の卒業式です。それぞれ道は違つけれど、笑顔と感謝、前向きな気持ちを忘れずに、進んで行って欲しいと思います。

寺沢 由加

光陰矢の如し：不安と期待でいっ

ばいの入学式から早三年。本当にお疲れさまでした。在学中は、笑顔溢れる楽しい日々と同様に、辛く苦しい日々もありましたね。けれども、人一倍頑張り屋の貴女は沢山の素晴らしい方々との出逢いに恵まれ、温かく・心強い支えの中で、とても大きな成長を日々遂げていきました。海外短期留学で得た、とても貴重な経験もまた、今後の人生の中で大きな役割を果たしていく事でしょう。保育士への夢：皆が貴女の「天職だね」と応援しています。悩み困難な時、思い出して声をかけて下さい。決して一人で抱え込まないで!! 麻里チャンの笑顔 皆が待っています♡お世話になった諸先生・関係者の皆様に、心からの感謝を申し上げます。

神戸 一美

高校生活も残りわずかになりました。沢山の友達や諸先生方に恵まれて充実した日々を送らせて頂きました。また、剣道部に入部する事で先輩や後輩、小幡先生に出会えました。部活動は寒い日も暑い日も厳しい稽古を通し互いの力を

高める為に鍛練し、試合では共に感激し涙を流し、もちろんうれしい事ばかりでなく、悔し涙を流す事もありましたが、互いに部員を励まし合い共感し合える仲間を作る事が出来ました。また、先生の指導のもと思いやりと協調性と責任感を持つ大変さを学びました。たくさん仲間に会えた事で、成長出来た事に感謝を忘れずに、自信を持つて生きて欲しいです。また、この先の人生は平坦な道のりでは無いでしょうが、高崎商大附属高校で学んだ知識や経験や忍耐力が糧になる事であるうと思えます。不安に負けず前向きにたくましく未来へ突き進んで欲しいです。あなたが旅立つ事は寂しくもありますが、これからも応援団長として見守り続けます。頑張ってください。

卒業おめでとうございます。

佐藤 道子

今年の流行語は、「おもてなし」、「倍返し」、「今でしょ」など、五文字で表す言葉が流行した。

我が家での高校生活の三年間を五文字で表現すると「たまたまこ

である。毎日どきどきしながら玉手箱の蓋を開けると、パレーポールの試合で優勝して喜んだり、翌日蓋を開けると、足を怪我して心配したり、日々喜怒哀楽、様々な物が玉手箱から出てくる。毎日飽きずに玉手箱の蓋を子どもと一緒に開けるのはなぜなのか？そこには夢や希望が入っているからである。私は今、強くそう感じている。この素敵な玉手箱をプレゼントして頂いた方は何方？それは紛れもない、商大附の先生方である。どんなに辛い事であっても夢や希望を抱いていれば必ず叶うのである。旅立つ我が子へ、「よく覚えておいて、今度は、一人で玉手箱の蓋を開ける事になるけれど、心配することは無い。この箱の中には全てが入っている。あなたを守る全ての物が。」

最後に、先生方、上和田先生、三年間有難うございました。心より感謝致します。

柴崎 尚長

緊張と不安で足を運んだ入学式は、決して忘れることのないあの日。3/11。から、まだひと月も

経たない時でした。

あれから三年被災地の方達は、復興に向けて懸命に毎日を送っています。以前の「当たり前」の日常を取り戻すためにです。

この三年間、「当たり前」のように学校へ通い、「当たり前」のように日々を過ごしてきました。だからこそ何気無い日常の「当たり前」であることの大切さをおかみしめてください。

卒業し次のステージへ向かう貴方に、先人が説いた『日常の五心』を送ります。

- 一、「はい」という素直な心。
 - 二、「すみません」という反省の心。
 - 三、「おかげさまで」という謙虚な心。
 - 四、「私がいします」という奉仕の心。
 - 五、「ありがとう」という感謝の心。
- 大切に忘れないでください。貴方をいつまでも応援しています。

浦澤春枝

入学してから月日の経つのは早いもので、残りわずかとなりまし

た。

商大附高バレーボール部での活動を通じ、多くの事を学びました。これはひとえに先生方のご指導、仲間の協力のお陰様で感謝の気持ちでいっぱいです。また、沢山の友達と出会って支えられ楽しく有意義な高校生活を過ごす事ができました。今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずに、三年間の経験、部活動で培った精神力を持って、これからの自分で決めた夢に向かって突き進んでいって下さい。

最後に三年間お世話になりました先生方に感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございます。

高橋久子

早いもので、憧れの制服に身を包み、頼りない様子で入学してから三年が経ちました。毎日の学校生活が楽しいと、私自身も安心して送り出すことができました。当初は入学する目的の一つに、中学校からのバレーボールを継続したいと考えていたようですが、高校で初めて知ったフェンシング部に娘は迷わず入部。たちまちフェン

シング部に魅了されていきました。

遠征の多い部活でもあり、県外の方々と出掛け、自分一人で荷物の準備、試合のコンディショニングなどをしなければならず、今までの親子関係は過保護であったと感じる機会でもありました。過ぎてみると、それは娘にとつて大きな成長につながることでした。商大附高の生活は我が子にとって、将来の夢の実現に向けて大変貴重な経験となり、親としても、たくさん感動や喜びを与えてもらったと有り難く感じています。

最後に、三年間お世話になりました諸先生方、そして将来の進路に向けて適切な支援をして頂いた砂山先生に心より感謝申し上げます。

木村恵美子

あの震災から、早三年が経とうとしています。あの日は、中学の卒業式。日本中が混乱する中、無事に入学式が行われ、高校生活をスタート出来たのが懐かしいです。

バドミントン部に入部し、初めてのスポーツに一所懸命に取り組んで、何度かくじける心に勝ち、最

後までやりとげました。そして、

進路。不安を拭えぬ父親と真剣に話し合い、大学進学を認めてもらいました。希望する大学へ何度も出向き、意欲を高め、有難くも指定校で受験させて頂き、合格する事が出来ました。大学へ行くという事も決して楽な道ではなく、むしろ逆かもしれませんが、学ぼうという事はとても尊い事です。これからも粘り強く一所懸命頑張ってください。卒業、おめでとう。

佐藤弘子

入学から三年が経ち早いものでもう卒業。この三年間で学んだことはとても多かったですね。

振り返ってみるとやはりほとんどが野球のことです。野球を続けられたこと、仲間や保護者会の皆様、先生方、周りの全ての方々に感謝しましょう。そして、皆と一緒に甲子園を目指し苦楽を共にした経験を、これからの人生の糧にしてください。また、私達も素敵な仲間と出会い共に泣き、笑うことができました。野球を続けてくれてありがとうございます。

進路では最初に決めた道を諦め

ざるを得なくなつた時、後ろを向くことなく前を見て努力している姿に成長を感じました。

一〇〇%の力を出しての失敗はその先の大きな成功に繋がると言っている人がいました。大切なのは力を出しきることだと。努力は惜しまないで下さい。そして感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

最後に、ご指導下さいました先生方ありがとうございました。卒業おめでとう。

桃北多賀子

高校生活も残りわずかとなりましたね。いま三年間を振り返るとき、あなたの中に、どんな思い出が浮かんでくるのでしょうか。笑顔溢れる日が多かったように感じますが、心が曇る日が無かつたわけではありません。それでも今日のあなたが晴れやかな面持ちでいられるのは、全力で向き合い励まし合い喜びを分かち合う仲間、温かく且つ真摯に指導して下さいました先生方諸先輩方、この三年間で出会ったすべての人のお蔭です。商大附で過ごした日々を糧として自信と誇りを持ち邁進して行って下さい。

仲間と心をひとつにして音を奏でていた時間は一生の宝物、一音心奏と感謝の気持ちを大切に。これからも応援しています。

最後に、諸先生方の温かいご指導に感謝しお礼申し上げます。卒業おめでとう。

清水美香

五体満足で産まれて来てくれさえすればそれでいいと願っていたのに、成長と同時に欲が出てしまいい、この三年間は特に資格を一つでも多く取得し、進路に役立てて欲しいと諄いほど言ってきました。それは全て自分にとってプラスになり、就職先も広がるからです。短大に進学しても同じです。

努力は無駄にならないし、努力は実を結びます。何事にも諦めず邁進して下さい。そして辛い出来事に会ったら、プラス思考で乗り越えて下さい。乗り切れない試験は与えられないと思っています。これから沢山の壁にぶつかるでしょう。最後に、三年間お世話になった先生方の御蔭で今の自分がある事、特に担任の先生にはお世話になった事、良き友に恵まれた事、これ

からも人との出会いを大切にし、感謝の気持ちを忘れずに、幸せな人生を送れる事を願っています。生まれて来てくれてありがとうございます。

佐藤昌美

月日の立つのも早く、高校生活もわずかになりましたね。

幼少の頃は、体も小さく病気がちの娘が、成長するにつれて心身共に強くなり、自分の将来に向けてしっかりと進もうとする姿に、心が温かくなります。

部活動で、バドミントン部に所属し、三年間の大半を費やし、やりとげたね。日々の暑さや寒さ、時には

悩み、笑い、コーチや先輩、仲間、後輩に支えてもらって、沢山の思い出を作ってもらった事を決して忘れないでね。

そして、多くの友人に支えてもらっていて、幸せ者だと心から感謝しています。

これからの人生で、高校生活は通過点です。これからも、日々努力を惜しまず、目標に向けて邁進して下さい。どんな時でも、あなたの応援団だからね。

最後になりますが、お世話になった諸先生方、心より感謝申し上げます。卒業おめでとう！

進路指導部より

【進学状況】

立24名の合格で今年度は目標30名以上の合格を達成したい。

今年度の推薦AO入試で国公立の合格者は18名で過去最多となりました。東北大学にAO入試で合格し、群馬大学7名、高崎経済大学4名の合格である。合格したどの生徒も努力の成果が結果に繋がっている。昨年の卒業生は最終的に国公

現在、社会が求めている人材は三つの力を求められている。第一に「前に踏み出す力」である。失敗しても粘り強く取り組む力である。第二は「考え抜く力」である。課題を発見し、計画的に分析して考察する力である。第三は「チー

ムで働く力」である。多様な人々と共に目標に向けて協力する力である。コミュニケーション力を高めることが求められている。

生徒諸君には何のために進学するのかを考えてもらいたい。学がことは社会に出る準備でもある。自分の能力を客観的に捉え、どの能力を伸ばすために学習するのかを明確にして欲しい。目標を持っていく自分を肯定的に評価して欲しい。早い段階で、合格したい学校を決め、合格するために努力して欲しい。

国公立大学のセンター試験は5教科7科目の流れが定着し、広範な基礎学力を確認している。マークテストのセンターは、出題者の意図に沿って流れるように解答していくことが必要である。国公立大学二次試験や私立大学の一般入試では、基礎学力と共に分析力や論理性、応用力を見るために、それぞれの大学が特色のある入試問題を作成している。差の付く問題で手応えがあれば合格に近づく。

学習活動を支える基本は、言語教育にある。その教科は、国語・数学・英語という教科となる。教科書のほとんどは日本語で書いて

ある。国語は読むことの基本として最も重要である。本を読むこと、新聞を読むこと、様々な資料を読むこと。自発的にたくさん読むことが能力を飛躍的に向上させることは間違い無い。数学は論理的思考を育て、抽象化された概念を体系的に理解する能力を育む。数学がなければ、科学技術の進歩もなかったといえる。国際化の時代にあつて、英語が使えることは、あたりまえのこととして要求される。英語における読み書きと共にコミュニケーション能力も重要視されている。大学の入試科目では国数英の三教科が重視されている。

ある。国語は読むことの基本として最も重要である。本を読むこと、新聞を読むこと、様々な資料を読むこと。自発的にたくさん読むことが能力を飛躍的に向上させることは間違い無い。数学は論理的思考を育て、抽象化された概念を体系的に理解する能力を育む。数学がなければ、科学技術の進歩もなかったといえる。国際化の時代にあつて、英語が使えることは、あたりまえのこととして要求される。英語における読み書きと共にコミュニケーション能力も重要視されている。大学の入試科目では国数英の三教科が重視されている。

平成 25 年度 父母の会学年懇談会 進学関係資料

- (1) 平成 24 年度 大学 234 名 (国公立 24 名) 合格
- 平成 23 年度 大学 265 名 (国公立 22 名) 合格
- 平成 22 年度 大学 267 名 (国公立 12 名) 合格
- 平成 21 年度 大学 197 名 (国公立 10 名) 合格
- 平成 20 年度 大学 200 名 (国公立 9 名) 合格

(2) 在校生の進学希望調査 (平成 25 年 4 月調査)

	1 学年 在籍 516			2 学年 在籍 396			3 学年 在籍 466			
	大学	短大	専門	大学	短大	専門	大学	短大	専門	
文 系	文・外国語	29	4	2	21	1	0	26	0	3
	商・経	15	2	3	18	0	1	40	3	4
	法・社会	9	0	2	6	2	0	12	0	2
	体・教育	19	1	2	10	1	1	11	1	2
	福祉	3	1	1	3	1	1	2	1	3
	芸術	8	1	8	9	3	3	4	2	7
	家政	2	1	4	3	1	1	4	0	6
	保育	13	15	4	5	6	4	5	19	3
	心理	5	1	1	13	0	0	4	0	0
	理容・美容	1	2	17	1	6	20	0	2	17
	医療事務	3	0	3	7	3	4	1	9	13
その他	2	1	12	2	0	12	9	4	29	
未定	38	9	18	38	6	12	21	7	6	
理 系	理学	14	0	0	13	0	0	6	0	0
	工学	12	1	1	18	0	2	15	0	9
	農学	0	0	0	0	0	0	6	0	0
	医・歯・薬	13	0	0	9	0	0	5	0	2
	医療	7	0	0	3	1	4	8	1	9
	看護	10	4	8	10	1	2	18	0	9
	動物	2	0	15	2	0	2	6	0	5
	その他	3	0	0	6	0	1	7	2	4
	未定	19	0	1	13	0	0	3	0	0
	未定	48	7	9	26	3	8	7	1	8
合 計	275	50	111	236	35	78	220	52	141	

1年 進学 436 就職 80 2年 進学 349 就職 47 3年 進学 413 就職 53

(3) 入学試験 各大学短大専門学校の可否資料については進路資料を参照のこと。

- A. 推薦入試 出願条件を満たした生徒が高校からの推薦を得て出願する。
指定校推薦 (大学 109 校 短大 39 校 進路資料 7 月上旬配布の指定校一覽冊子)
大学等が指定した高校に基準や指定枠等を提示して募集する推薦。出願できれば合格の可能性は極めて高い。
公募制推薦 条件を満たしていれば、どの高校の生徒も出願できる入試
一部人数制限のある大学あり 群馬大学教育学部各専攻各校 1 名等
※出席状況には十分留意し全科目について評定平均値を高める努力が必要
- B. 一般入試 各大学・学部により入試科目を設定して、可否を判定する。入試得点が重視されるので、入試科目で高得点を取れる実力が必要。
〈大学入試センター試験〉
国公立大学受験者は必修であるが、9 割以上の私大がセンター試験利用入試を実施。4 年制大学受験者はほぼ全員が受験してほしい。
国公立の試験科目は、5 教科 7 科目に増加科目構成例
文系 (英 1、国 1、社 2、数 2、理 1) 等
理系 (英 1、国 1、社 1、数 2、理 2) 等
“入試科目を意識した学習を”
- C. A O 入試 大学 (短大) 何を学びたいかを大学側と相談し、受験生と大学側の条件が一致した場合、出願し選考される。エントリーの早い学校も多い。

科学技術や社会現象の理解のためには理科や地歴・公民の教科がある。実学的な教科として情報や商業があり、家庭・体育・芸術という教科は、生活・健康や豊かな人間性を育む。

進路実現には入試科目の学習が重視される。しかし、バランスのとれた人格形成には総合的な学力が必要となる。すべての教科・科目に対して前向きに取り組み、さらに、入試科目で合格点を取る。高校三年間という限られた時間内で身につける必要のある内容がどれ程多いかを認識し、努力をしていただきたい。広い視野での学習が希望する進路を実現し、複雑な競争社会でも豊かな人生を約束するものと思われる。

「努力は人を裏切らない」
最大限の努力をして欲しい。

▼主な合格大学

- 東北大学(1) 群馬大学(7) 群馬県立女子大学(3) 高崎経済大学(4) 群馬県立県民健康科学大学(1) 浜松医科大学(1) 横浜市立大学(1) 東洋大学(4) 駒澤大学(2) 専修大学(1) 文教大学(1) 玉川大学

- (1) 桜美林大学(1) 日本薬科大学(1) 女子美術大学(1) 大東文化大学(1) 共立女子大学(1) 立正大学(1) 駒沢女子大学(1) 学習院女子大学(2) 帝京大学(2) 拓殖大学(1) 国士館大学(2) 東京家政学院大学(1) 日本女子体育大学(1) 東京女子体育大学(1) 日本体育大学(1) 大正大学(1) 東京農業大学(3) 東京国際大学(2) 城西大学(2) 日本保健医療大学(1) 埼玉医科大学(1) 淑徳大学(1) 国際武道大学(1) 城西国際大学(3) 昭和女子大学(1) 足利工業大学(2) 中央学院大学(1) 尚美学園大学(1) 駿河台大学(1) 長野大学(1) 朝日大学(2) 常葉大学(1) 中央大学(2) 帝京科学大学(1) 工学院大学(1) 東京電機大学(2) 東京工芸大学(1) ものつくり大学(1) 平成国際大学(1) 文星芸術大学(1) 埼玉工業大学(4) 新潟医療福祉大学(2) 桐生大学(1) 東京福祉大学(3) 高崎健康福祉大学(2) 群馬パース大学(2) 関東学園大学(1) 上武大学(2) 群馬医療福祉大学(8) 共愛学園前橋

- 国際大学(3) 高崎商科大学(59) 他

▼主な合格短期大学

- 高崎商科大学短期大学部(43) 育英短期大学(15) 新島学園短期大学(11) 群馬医療福祉大学短期大学部(2) 東京福祉大学短期大学部(1) 明和学園短期大学(5) 桐生短期大学(3) 大妻女子大学短期大学部(2) 武蔵丘短期大学(1) 国際学院埼玉短期大学(1) 他

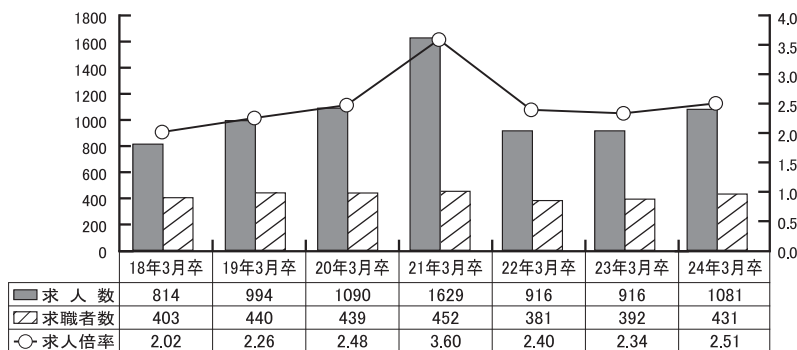
(進学指導専事 牧口一男)

【就職状況】

報道では、就職状況は好転しているということになっている。「求人数・求職者数・求人倍率の推移」のグラフも、確かに微増している。文部科学省の調査でも、就職内定率が「四年連続の上昇となり、リーマン・ショック前の水準までほぼ戻った」と上毛新聞(十二月十七日付)は伝えている。

しかし、現場では、その実感が無い。結果的には昨年並みの数字になってほっとしているが、今年もいろいろなお知らせがあった。ある企業

求人数・求職者数
・ 求人倍率の推移



は一名募集だったのに、本校から三名採用してくれた。生徒もよく頑張ってくれたと思う。もっとも、そのためにも、早い時期からの準備

備が必要になる。自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは、決して簡単なことではない。しかも、決められた時間内に決断しなければならぬのである。

群馬県では、高校生の就職の選考は一人一社制で、九月中旬から始まる。今年度は特に、この時期に応募した者が中心であった。十月の中旬以降は一人三社までの推薦・応募が可能となるが、現実的には難しくなる時期だ。もちろん、どんな状況でも、生徒本人の希望がしっかりといていないといけない。と同時に、受験準備を充分にする必要がある。本校では、模擬面接等を私が担当している。そこでのアドバイスを是非生かしてほしい。最後に一つだけ付け加えておきたい。企業に採用されるためには、改めて、言葉づかいや身だしなみを注意してほしい。企業が求める「コミュニケーション能力」は、決して難しいものではない。本校の校訓「親愛・礼節・整美」の心を発揮してくればよいのである。

(職業指導主事 愛敬浩一)

生活指導部より

「ブレない指導を！」

「グリぼっち」「リア充」等々最近の略語の多さ、移り変わりの速さには驚くばかりです。その背景にあるのはネット社会の便利さと危うさの両方です。

「クリスマスに一人ぼっち」になりたくないという気持ちの一方では、20代、30代で特定の異性と交際していない人が増えていると

話を聞きます。「リアルが充実」している人は、そもそもネットにすら介入していないという現実もあると思います。何処の誰かもわからない他人の一言に一喜一憂する前に、現実にも、目の前にいる家族、友人との絆をもっと信頼して欲しいと思います。赤の他人だから甘い言葉も、優しい言葉も無責任にささやいてくれるでしょう。逆に、心配しているからこそその厳しい言

いと思えます。ネットにすら介入していないという現実もあると思います。何処の誰かもわからない他人の一言に一喜一憂する前に、現実にも、目の前にいる家族、友人との絆をもっと信頼して欲しいと思います。赤の他人だから甘い言葉も、優しい言葉も無責任にささやいてくれるでしょう。逆に、心配しているからこそその厳しい言

葉や、励ましがあるのです。ネットの先の優しい誰かは、本当に本人のことを心配しているのでしょうか？人の弱みにつけこむ悪意のカモフラージュにはなっていないでしょうか？

我々教師も親も、生徒は未成年であり、指導すべき点はまだまだあることを自覚し、ブレることなく協力して指導していく必要があると思います。今後とも保護者におかれましては、ご協力よろしくお願い致します。

(生徒指導主事 田沼稔夫)

平成25年度 父母の会行事予定

月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	9	火	入学式(群馬音楽センター)
5	10	金	本部役員会
	18	土	平成25年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	28	火	県私立中学高等学校保護者会連合会総会(ラシーネ)
6	4	火	高崎地区PTA会長及び管理職歓迎会(エテルナ高崎)
	7・8	金・土	県高P連総会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	23	日	3年学年学級懇談会・反省会
	30	日	1年学年学級懇談会・反省会
7	7	日	2年学年学級懇談会・反省会
8	16	金	後援会合同夏季懇親会(ヴィラデマリアーヂュ)
9	26	木	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(新島学園)
10	18	金	西毛地区高P連指導者研究集会(ニューサンピア)
	8	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
11	23	祝	後援会・同窓会合同研修旅行(鎌倉)
	3	火	私学振興全国大会(日比谷公会堂)
1	17	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラデマリアーヂュ)
	30	木	平成25年度群馬県私学振興大会(ラシーネ)
2	7	金	3年学年学級役員反省会(ヴィラデマリアーヂュ)
	14	金	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(健大高崎)
3	1	土	第65回卒業式(群馬音楽センター)
	14	金	1・2年学年学級役員合同反省会(ヴィラデマリアーヂュ)

平成24年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成24年度決算につきましては、平成25年5月29日開催の理事会にて承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き「正常状態」に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の充実に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成24年度の資金収支状況について、収入は合計で4,952,319千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入及び雑収入等で増加したものの、手数料収入、

寄付金収入、資産運用収入、事業収入等が減少したことで、予算に対しては57,018千円の減収となりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次年度繰越支払資金は予算に対し39,487千円増加し、2,330,830千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部				
科目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,475,855,780	1,475,908,550	△ 52,770	
手数料収入	55,010,000	53,986,680	1,023,320	
寄付金収入	19,185,000	19,176,864	8,136	
補助金収入	546,430,125	548,025,325	△ 1,595,200	
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381	
資産売却収入	250,525,000	250,525,000	0	
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439	
雑収入	36,380,500	36,593,228	△ 212,728	
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0	
前受金収入	258,849,000	255,198,500	3,650,500	
その他の収入	238,108,037	203,812,562	34,295,475	
資金収入調整勘定	△ 265,038,750	△ 283,582,405	18,543,655	
前年度繰越支払資金	2,060,473,944	2,060,473,944		
収入の部 合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208	
支出の部				
科目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	1,210,899,419	1,209,310,912	1,588,579	
教育研究経費支出	467,266,840	461,739,738	5,527,102	
管理経費支出	140,344,075	131,519,687	8,824,388	
借入金等利息支出	4,484,855	4,484,855	0	
借入金等返済支出	27,770,000	27,770,000	0	
施設関係支出	340,374,449	335,251,949	5,122,500	
設備関係支出	54,405,029	51,690,291	2,714,738	
資産運用支出	402,070,000	402,070,000	0	
その他の支出 〔予備費〕	44,204,334 44,908,686	15,598,951	28,605,363 44,908,686	
資金支出調整勘定	△ 18,733,560	△ 17,947,020	△ 786,540	
次年度繰越支払資金	2,291,343,437	2,330,830,065	△ 39,486,628	
支出の部 合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208	

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態を明らかにし、これにより経営状況を把握するための書類です。（企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成24年度の帰属収入合計は、予算に対して2,923千円増の2,170,913千円となりました。また、基本金組入額は、予算に対し7,927千円減の118,448千円とな

りました。この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比10,850千円増の2,052,465千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対し37,365千円減の1,991,109千円となりました。

これらの結果、平成24年度の消費収支差額（＝消費収入－消費支出）は、61,356千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の346,846千円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、408,202千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,475,855,780	1,475,908,550	△ 52,770
手数料	55,010,000	53,986,680	1,023,320
寄付金	19,825,000	19,565,383	259,617
補助金	542,726,775	548,025,325	△ 5,298,550
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381
資産売却差額	525,000	525,000	0
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439
雑収入	40,488,320	40,701,048	△ 212,728
帰 属 収 入 合 計	2,167,989,875	2,170,913,166	△ 2,923,291
基本金組入額 合 計	△ 126,375,078	△ 118,448,265	△ 7,926,813
消費収入の部 合 計	2,041,614,797	2,052,464,901	△ 10,850,104
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,218,481,491	1,216,892,912	1,588,579
教育研究経費	620,196,840	614,446,354	5,750,486
管理経費	147,785,666	138,959,848	8,825,818
借入金等利息	4,484,855	4,484,855	0
資産処分差額	9,315,007	9,315,007	0
徴収不能額 〔予備費〕	7,009,700	7,009,700	0
	21,200,385		21,200,385
消費支出の部 合 計	2,028,473,944	1,991,108,676	37,365,268
当年度消費収入超過額	13,140,853	61,356,225	
前年度繰越消費収入超過額	346,845,741	346,845,741	
翌年度繰越消費収入超過額	359,986,594	408,201,966	

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成24年度末の資産総額は、10,028,764千円で前年度末に比べ486,600千円増加しました。また、負債総額は、983,385千円で前年度末に比べ306,795千円増加しました。

資産の部は、有形固定資産が206,113千円の増加、その他の固定資産が16,825千円増加し、固定資産全体では7,618,985千円となり前年度に比べ222,938千円増加しました。また、流動資産は2,409,779千円で前年度に比べ263,661千円増加しました。

負債の部は、固定負債が640,631千円で前年度に比べ274,209千円の増加、流動負債は342,753千円で前年度に比べ32,587千円増加しました。

基本金の部は、合計で8,637,177千円となり、前年度に比べ118,448千円増加しました。

これらの結果、消費収支差額は前年度に比べ61,356千円増加し、翌年度繰越消費収入超過額は408,202千円となりました。

なお、資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は9,045,379千円で、前年度に比べ179,804千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	7,618,985,234	7,396,046,739	222,938,495
有形固定資産	6,157,601,497	5,951,488,468	206,113,029
土地	2,470,403,047	2,470,350,469	52,578
建物	2,644,990,037	2,709,011,732	△ 64,021,695
建物附属設備	131,278,619	104,205,335	27,073,284
構築物	189,347,129	201,351,068	△ 12,003,939
教育研究用機器備品	96,622,606	112,119,413	△ 15,496,807
その他の機器備品	5,520,820	6,947,696	△ 1,426,876
図書	334,340,756	333,481,917	858,839
車輛	11,231,483	7,175,838	4,055,645
建設仮勘定	273,867,000	6,845,000	267,022,000
その他の固定資産	1,461,383,737	1,444,558,271	16,825,466
有価証券	1,197,487,000	1,197,487,000	0
退職金引当預金	147,000,000	147,000,000	0
第3号基本金引当資金	49,936,631	48,936,631	1,000,000
特定支出引当特定預金	25,070,000	21,000,000	4,070,000
その他	41,890,106	30,134,640	11,755,466
流動資産	2,409,778,669	2,146,117,518	263,661,151
現金預金	2,330,830,065	2,060,473,944	270,356,121
その他	78,948,604	85,643,574	△ 6,694,970
資産の部 合 計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	640,631,290	366,422,730	274,208,560
長期借入金	522,160,000	249,930,000	272,230,000
退職給与引当金	118,097,385	114,623,205	3,474,180
長期未払金	373,905	1,869,525	△ 1,495,620
流動負債	342,753,474	310,166,878	32,586,596
短期借入金	27,770,000	27,770,000	0
前受金	255,198,500	226,722,750	28,475,750
その他	59,784,974	55,674,128	4,110,846
負債の部 合 計	983,384,764	676,589,608	306,795,156
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	8,444,240,542	8,326,792,277	117,448,265
第3号基本金	49,936,631	48,936,631	1,000,000
第4号基本金	143,000,000	143,000,000	0
基本金の部 合 計	8,637,177,173	8,518,278,908	118,448,265
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	408,201,966	346,845,741	61,356,225
消費収支差額の部 合 計	408,201,966	346,845,741	61,356,225
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646

編集後記

昨年(2013)の世相を表す漢字は「輪」でした。その理由としては、二〇二〇年の東京オリンピック(五「輪」)開催、富士山の世界文化遺産登録、サッカーW杯への日本代表の出場決定など、日本中が「輪」になつて歡喜にわいた年であつたこと、また台風など相次ぐ自然災害にも支援の「輪」が広がつたことなどが挙げられたようです。

本校においても十一月に行われた「球技大会」では、男女が分かれての会場になり、男子が校外の和田橋運動場広場等、女子が校内の並榎キャンパスと大橋キャンパスを使用しての実施にはなりましたが、ソフトボール、フットサル、卓球、バレーボール、キックベースボール、ドッジボールや長縄跳びの競技を通じて大いに盛り上がり、クラスやクラスを超えた友情の「輪」をつくりあげました。

球技大会の運営については職員、生徒の協力の「輪」があつて、大会を円滑に進めることができたものと思ひます。

また、十二月二十三日に高崎市中央体育館で行われた吹奏楽部、ベップアーツ部、バドミントン部、空手道部の四つの部活動と外部パトロンチームとの合同で行われたウィンターフェスティバルは、それぞれが演奏・演技の「輪」を作り上げ、それを見る観客の心を魅了するものに仕上がつていました。

今年は午年。保護者の皆様には本校の教育へのご理解とご協力をいただき、生徒のより良い教育に向けて大いに躍動する年でありたいものです。最後に父母の会会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、編集後記にかえさせていただきます。

(高橋洋)

2学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名	期日	成績
アーチェリー部	平成25年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(山梨)	11/17~18	女子個人 5位 F3-7 遠間あずさ、9位 S2-1 市川千遥、10位 F3-8 荒井彩香、30位 F2-3 大岡彩純、35位 S2-1 松谷優花 男子個人 14位 F2-7 堀口祐太、21位 F2-6 星野光亮、36位 F2-1 武淵皓樹、50位 F2-1 山田航平、53位 S2-1 山本新、75位 S2-1 深町圭
	平成25年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡) 出場予定	3/26~28	女子個人 S2-1 市川千遥 男子個人 F2-7 堀口祐太
空手道部	国民体育大会(東京)	9/29・30	個人組手 出場 F3-10 小峯仁志、ベスト16 F3-8 白根伽奈 団体組手 2回戦 F3-10 小峯仁志、F3-8 白根伽奈
	アジアジュニア&カデット空手道大会	12/1~3	女子個人形 優勝 F1-9 清水那月
フェンシング部	全日本選手権大会	12/7・8	男子団体組手 ベスト8 F3-10 小峯仁志 女子団体組手 出場 F3-8 白根伽奈
	全国高等学校総合体育大会(大分)	8/3~7	フルール個人 6位 F3-8 小林亜美 サーブル個人 ベスト16 F3-9 高橋伊吹 学校対抗 ベスト8 F3-8 小林亜美、F3-9 高橋伊吹、F3-11 樺澤有紗、F2-11 新井はるか、F1-10 登坂梨乃
	平成25年度国民体育大会(東京)	10/3~5	少年女子 1回戦敗退 F3-8 小林亜美、F3-9 高橋伊吹、F3-11 樺澤有紗
	平成25年度全日本フェンシング選手権大会(長崎)	11/21~24	サーブル団体 1回戦敗退 F3-9 高橋伊吹、F3-11 樺澤有紗、F2-11 新井はるか、S1-3 大木彩
	欧州カデサーキット大会(デンマーク、コペンハーゲン)	12/7・8	エペ個人 77位 F1-10 登坂梨乃
	JOCジュニアオリンピックカップ(東京)	1/10~13	ジュニアの部 38位 F3-8 小林亜美、44位 F3-9 高橋伊吹、115位 F3-10 高山悠太、121位 F2-7 長島遼 カデの部 15位 F2-11 新井はるか、17位 F1-10 登坂梨乃、20位 F2-9 久保田 椋也、40位 F2-8 長壁潤也、52位 S1-3 大木彩
平成25年度関東高等学校選抜フェンシング大会(神奈川) 出場予定	1/25・26	学校対抗 F2-11 新井はるか、F1-10 登坂梨乃、S1-3 大木彩、F1-10 香内美結	
バレーボール部	平成26年度全国私立高等学校バレーボール選手権大会	平成26年4/1~4	F2-6 木暮絵理奈、設楽麻衣花、F2-7 星野会美、F2-8 小林莉緒、高山桃子、森遥香、吉野瑞季、新井都花彩、飯島有咲、久保友理瑛、篠原沙耶香、F2-10 阿久津友理、石川和加奈、櫻井彩、下城美沙季、星野早紀、宮下奈那美、S2-2 小林萌子、F1-2 河合菜生、F1-5 一ノ瀬真帆、F1-6 後閑早耶、F1-8 星田明子、林瑞季、F1-9 櫻井優、周防由衣、長峰英理奈
ペープアーツ部	Japan Cup	9/2	カラーガード部門 2位 参加者 S3-3 松沢玲奈、木暮梨奈、F3-5 吉田莉紗、F2-8 小島有加、F2-10 中村綾那、S2-1 中嶋未来、中田彩水、三浦彩子、S2-2 殿村優花、富所冴英、内藤佳奈、F1-2 栗原理沙、F1-4 佐伯風花、F1-6 吉澤愛永、F1-8 小金澤実莉、戸塚千景、F1-9 新井まいか、鶴田アキ、F1-10 戸塚怜乃、山口佳織、S1-1 佐藤麻由、神保茉耶、高橋絵美、S1-2 坂部稜華、S1-3 清水七夏美、福田有理
	第48回マーチングバンド・カラーガード関東大会	11/10	カラーガード部門 金賞 参加者 上記同様
	第41回マーチングバンド・カラーガード全国大会	12/14	カラーガード部門 銀賞 参加者 上記同様
バトントワリング部	第48回バトントワリング関東大会	10/26	バトントワリング部門 銅賞 S3-1 神原由多嘉、S3-3 染谷夏未、佐藤桃花、森田成美、山本優香、F3-10 大橋友梨、F3-7 小峯菜穂、F2-4 関口純代、F2-8 中澤里緒、F2-11 片岡もえ、F1-1 石川紗椰、F1-2 金子真弓、湯浅菜美、F1-4 岩崎公香、F1-6 内田菜、春山杏菜、F1-7 浦野紗英、倉林莉奈、芹澤彩乃、F1-8 秋山風香、岡田綾子、鈴木麻里、高橋美帆、S1-1 田島里咲、堀菜月、S1-2 佐藤珠乃、S1-3 井俣菜、山口優香
放送部	第38回全国総合文化祭放送コンクール茨城大会(茨城)	平成26年7/27~31	ビデオメッセージ部門 F2-2 久保莉乃香、F2-10 岩崎朱音、須藤秋穂 オーディオビジュアル部門 F1-9 川田春花、長竹彩
囲碁部	第29回関東地区高等学校囲碁選手権大会(神奈川)	1/25・26	女子団体戦 女子個人戦 出場 F2-7 平千奈美、F2-4 吉澤紗希、F2-5 佐藤綾子、F1-6 長谷川由美
演劇部	第49回関東高等学校演劇研究大会(栃木)	2/1~2	F3-5 兼重香澄、F3-6 柳沢郁弥、F3-10 入江亜梨沙、S3-1 渡邊陽和、F2-1 藤井勇気、F2-2 青木優芽、F2-3 荻山秀美、F2-4 朝倉敏昌、藤城瞳、F2-5 高見澤瞬、大木菜摘、F2-6 川田名菜美、F1-2 堤千春、野口瑛海、武蔵野 茉優、F1-3 津久井七海、F1-4 新井智貴、南原梨穂、F1-5 今井公平、F1-6 塩原葵、F1-8 山崎京花、F1-9 黒崎玲沙、S1-1 君島孝明、高林結佳